

平成27年6月1日

山企業景況調査の結果は、次の通りである。調査結果はDI指数（景気動向指数）を用いて示している。

平成27年1月～3月期の守査結果では、業況、売上高、採算、資金繰りの主要4指標全てで前回調査より数値が悪化した。

業況DIは▲30.2で前回調査から9.2ポイント悪化した。業種別では、小売業▲47.1（前回調査比▲27.1）、製造業▲21.0（前回調査比▲45.5）、建設業▲9.1（前回調査比+19.1）、サービス業▲14.6（前回調査比+16.7）と製造業の落ち込みが目立つ結果になった。

4月～6月期見通しは全体で▲28.3であり、数値に大きな変動は見られない。

業況

平成27年1月～3月期の調査結果では、業況、売上高、採算、資金繰りの主要4指標全てで前回調査より数値が悪化した。

業況DIは▲30.2で前回調査から9.2ポイント悪化した。業種別では、小売業▲47.1（前回調査比▲27.1）、製造業▲21.0（前回調査比▲45.5）、建設業▲9.1（前回調査比+19.1）、サービス業▲14.6（前回調査比+16.7）と製造業の落ち込みが目立つ結果になった。

売上高

売上高DIは▲34.4で前回調査より6.7ポイント悪化した。業種別では、小売業▲55.6（前回調査比▲8.5）、製造業▲36.4（前回調査比▲36.4）、建設業▲9.1（前回調査比±0）、サービス業▲22.2（前回調査比+19.9）、卸売業▲83.3（前回調査比▲33.3）であり、製造業と卸売業の落ち込みが大きい。

売上高

4月～6月期見通しは全体で▲18.8となつており、今回実績に比べて15.6ポイントの上昇となつている。

4月～6月期見通しは全体で▲23.5であり、今回調査実績より10.8ポイント悪化となつている。

採算（経常利益）

採算（経常利益）DIは▲35.5で前回調査より13.6ポイント悪化した。業種別では、小売業▲44.4（前回調査比▲44.4）、建設業▲54.5（前回調査比▲54.5）、サービス業▲60.0（前回調査比▲7.2）、卸売業▲60.0（前回調査比▲60.0）で製造業と卸売業

その他の意見

・アベノミクス第3の矢次第で税金、年金、積立金が目減りするかと思うと将来少し心配である。

・春先の商品仕入れ単価の上昇は異常である。

・中小零細企業は時流に合わせた経営をしてゆくしかないとと思う。

・アベノミクスが始まる前の方が良かつた。



の落ち込みが激しい。
4月～6月期見通しは全体で▲28.1であり、今回調査実績より7.4ポイント上向いている。

資金繰り

資金繰りDIは▲12.7で前回調査より7.5ポイント悪化した。業種別では小売業▲12.5（前回調査比+6.3）、製造業▲33.3（前回調査比▲33.3）、建設業▲10.0（前回調査比▲10.0）、サービス業▲7.1（前回調査比▲7.1）、卸売業▲0.0（前回調査比±0.0）であり、製造業と卸売業の落ち込みが大きい。

4月～6月期見通しは全体で▲18.8となつており、今回実績に比べて15.6ポイントの上昇となつている。

4月～6月期見通しは全体で▲23.5であり、今回調査実績より10.8ポイント悪化となつている。

